

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
分担研究報告書

選択肢提示に関する医療スタッフのあり方に関する研究

研究分担者 名取 良弘 飯塚病院 特任副院長、脳神経外科部長

研究要旨：

急性疾患で終末期を迎えた患者の家族にとって、治療に直接関与しない職員の介入が、医療全般の満足度を向上するという仮説に基づき、昨年度同様に介入者の身分を明確にする書類を使用して患者家族の認識を向上させ満足度の向上の有無を検証することを継続した。高い返信率で多くのサンプルを得ることが出来た。単年度での有意差を得ることは困難であったが、年度を重ね回答数を増やすことで有意差を得ることが出来ると考え、本年の研究を実施した。3年度分の総括報告にて総合的な評価を実施した。

A. 研究目的

先行研究(厚生労働科学研究費補助金(移植医療基盤整備研究事業)分担研究)において、急性疾患で終末期となった患者家族に対して、担当医師・担当看護師以外の治療に直接関与しない職員が介入したことで、患者家族の医療の満足度が有意に向上した。

本年度は、前年度に引き続き死亡退院後の患者家族へのアンケート調査を継続し、医療者と患者家族の十分な接点の機会を得ることが困難なコロナ禍のなかで、治療に直接関与しない職員の介入の重要性を更に明確にし、症例数を増やすことで傾向レベルであった分析結果を有意差となる一助とすることとした。

B. 研究方法

【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

先行研究で2018年1月より実施している急性疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査を継続した。アンケートの匿名化のため、先行研究では調査年度が明確ではなかった。同じ用紙を使用する本年度研究の結果を区別するため、2019年度から2020年度は用紙サイズ(A4→B5)を変更、2021年度は調査用紙の色を変更したが、2022年度は更に調査用紙の色調を変更して実施した。

実施は先行研究同様で以下の通り。

- 1) 脳神経外科入院患者の入院時に、患者家族に退院後に任意のアンケート調査があることを伝える書類(別紙1)を渡す。

当院では、死亡退院以外の患者家族には、退院時にアンケート調査を行っているが、死亡退院の場合には行っていない。今回の調査は、現在行っていない死亡退院患者家族へのアンケートであり、用紙は後日自宅へ送付する方法をとるため、事前のアナウンスが必要と倫理委員会から指摘されたため、別紙1の用紙を、脳神経外科に入院する患者家族すべてに渡すこととした。

- 2) 死亡退院後、50日を経過したのち、アンケート用紙(別紙2)を患者家族(入院時登録されたキーパーソン1)の自宅に返信用の封筒を入れて送付する。
- 3) 返送されたアンケート用紙を集計分析する。

(倫理面への配慮)本調査は、飯塚病院倫理委員会にて審議の上、承認された。(平成30年1月10日：R-17190)

C. 研究結果

【急性期疾患で死亡退院した患者家族へのアンケート調査】

1) 返信率

本年度は48例(括弧内は昨年度:59)に送付し、返信は23例(18)であった。本年度の返信率は、47.9%であった。先行研究の返信率は40%(103例中41例)であり、本年度の返信率は高かった。返信率の上昇は、2020年度が59.0%であったことから、コロナ禍の影響とも思えるが、昨年度は、2021年度30.5%と極端に低かったこともあり、コロナ禍による影響と

は考えにくい。なお、先行研究を含めて、同時期の一般の調査(転院もしくは自宅退院した患者に対しての同様の退院時調査)の返信率が30%前後であった。死亡退院という悲しい出来事後の調査であるにもかかわらず、本研究の返信率が高い事は、患者家族へ郵送して送付する形式による可能性も否定できない。

2) 多職種介入の患者家族の認識

患者家族は、担当医師・担当看護師以外の治療に関与しない職員(“第3の職員”)の介入を7例(30.4%)で希望し、2例で介入を認識していた。介入と認識された職種は、先行研究では、MSW(メディカルソーシャルワーカー)もしくはリハビリ療法士、昨年度の調査では、両者に加えて看護師長の返答が見られたが、今年度の調査では、MSWのみであった。

患者家族の医療の満足度に着目し、満足を5、不満を1とした5段階評価で解析(有効回答のみ)すると、介入希望の有無では、有:4.29±0.95(n=7)、無:4.09±0.94(n=11)であった。介入認識の有無では、有:5.00±0.00(n=2)、無:3.81±1.17(n=16)であった。過去の調査と同様に、介入無し群の評価が低かった。介入希望があった7例中、介入認識があった2例と、介入認識が無かった5例で比較すると、介入希望あり・介入認識あり群は、5.00±0.00、介入希望あり・介入認識なし群は、4.00±1.00であり、過去の調査同様に介入認識があった群が高い評価であったが、有意差は認めなかった。一方、介入認識の有無では、介入有りと認識された群の満足度は、介入なしと認識された群の満足度に比べ優位に高かった。介入の有用性を示していると考える。

D. 考察

本年度は、昨年同様、患者家族の介入の認識を高めるため患者家族へ渡す冊子(別紙3)を使用した。

本年度のコロナ禍の影響は大きかった。2022年調査対象病床で院内クラスターも発生し患者家族の面会禁止(もしくは制限)がほぼ一年中行われた。終末期の患者に関しては、患者家族1名のみの方添を認める措置は、昨年同様に実施した。2020年

からのコロナ禍で患者家族の慣れも生じ、当初見られていた面会禁止に対しての不満は減少していた。この点が返信率の増加につながっている可能性はある。

24時間以内の死亡退院を除き、平日入院のほぼ平日日勤帯を含む入院患者家族に対しては、全例に看護師長もしくはMSWの介入が実施されたが、返信された23例中、24時間以内の入院期間が7例、3日未満が4例(週末だと介入機会は無い)と、返信された約半数が介入の機会が無かった可能性が高い。MSWの介入実績から、2022年は介入し死亡退院した症例が2例であることから考えると、介入認識の2例に一致していた。今後の介入実績の向上には、平日休日は問わず、翌日日勤対応を可能にすることが求められている。

E. 結論

コロナ感染症の蔓延に伴い、医療者と患者家族とのコミュニケーションの機会が減ったが、十分な感染対策の下、治療に関与しない職員が患者家族に介入することが、患者家族の希望の有無に関わらず家族の医療への満足度を向上することが明確となった。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
ありません。
2. 学会発表
ありません。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)
ありません。

脳神経外科に入院する 患者さんならびにご家族へ

飯塚病院 脳神経外科では、主治医制ならびに当直制をとっております。主治医が不在の際には、当直医が代理で診察・処置を行うことがあることをご理解ください。

また、脳神経外科では、医療の質を向上させるために、入院加療をされた患者・家族の皆様への支援が十分に行えているかのアンケート調査を行わせて頂いております。退院後に、調査用紙を入院時に登録された現住所に送付させて頂くことがあります。現住所への送付が不都合な際にはお申し出ください。

なお、調査に参加していただくかどうかは、皆さんの自由意志です。退院後の調査のため、参加の有無による今回の入院治療内容に影響はありませんし、無記名調査のため、その後の外来などでの治療内容にも全く関係がありません。

ご質問がありましたら、脳神経外科主治医にご相談ください。

飯塚病院 脳神経外科部長 名取良弘

脳神経外科に入院された患者さんのご家族のみなさんへ アンケート調査へのご協力のお願い

「日本一のまごころ病院」を目指す飯塚病院では、まごころの込められた「最適医療」を提供するために、入院された患者さんにアンケートへのご回答をお願いしています。これまでも、患者さんが退院される当日にアンケートをお願いし、ご回答頂いたご意見を、より良い病院運営に役立ててまいりました。

その一方で、お亡くなりになって退院されました患者さんのご家族には、ご意見を頂く機会がございませんでした。これは、飯塚病院に限らず、日本のほとんどの病院が同様にご家族のお気持ちを察して調査を行っておりませんでした。

しかし、大切なご家族の一員である患者さんと病院で最期の時間を共に過ごされましたご家族にこそ、ご意見を頂戴すべきと考え、このアンケート調査を行うことといたしました。

もちろん、ご回答を強制するものではありません。回答されない場合でも、今後、飯塚病院での受診や治療、看護などでご家族が不利益となることは一切ありません。回答の可否については、ご家族がご自由にお決めください。回答を見合わせる場合は、ご面倒をおかけしますが、この用紙を破棄してください。

このアンケートには、患者さんやご家族個人を特定する情報はございません。この調査結果を医療の改善を目的として学会や公的資料として使用する場合も、集計されたデータとして使用し調査目的以外の利用は行いません。

このような趣旨にご賛同いただき、アンケートにご協力いただけます場合は、御面倒をお掛けしますが、ご回答の後、添付の封筒に入れて、ご返送ください。よろしくご検討のほど、お願い申し上げます。

飯塚病院 副院長

脳神経外科 部長

名取 良弘

■【問1】～【問10】の質問につき、回答を1つ選び当てはまる回答に○印をつけてください。
□には自由にご意見をお書きください。

【問1】入院されていた患者さんの性別を教えてください。

女	男	その他
---	---	-----

【問2】入院されていた患者さんの年齢を教えてください。

15歳未満	15～19歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳
35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
85歳以上				

【問3】今回、患者さんが入院されていた期間を教えてください。

24時間以内	1～3日	4～7日	8日～14日	15日～30日	30日以上
--------	------	------	--------	---------	-------

■ご回答されているご家族(あなた)へ伺います。

【問4】あなたと患者さんとの関係を教えてください。

配偶者	親	子ども	親戚(兄弟など)	その他
-----	---	-----	----------	-----

【問5】あなたの年齢を教えてください。

20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上

【問6】あなたは「担当医師」についてどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 治療全般について	5	4	3	2	1	0
2. 病気の状態や検査・治療に関する説明について	5	4	3	2	1	0
3. 患者さんのご質問や訴えへの対応について	5	4	3	2	1	0

【問7】あなたは「看護師」に関する下記の事項はどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 看護全般について	5	4	3	2	1	0
2. 患者さんのご要望やご相談への対応について	5	4	3	2	1	0
3. ナースコールの対応について	5	4	3	2	1	0

【問8】あなたは「入院」に関する下記の事項はどう思いましたか？当てはまる数字を○で囲んでください。

	大変良い	良い	どちらでもない	やや悪い	悪い	わからない
1. 病室環境・院内設備	5	4	3	2	1	0
2. 食事	5	4	3	2	1	0
3. 職員の言葉遣い	5	4	3	2	1	0
4. 職員の身だしなみ	5	4	3	2	1	0
5. プライバシー保護	5	4	3	2	1	0
6. 安全面	5	4	3	2	1	0

【問9】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、患者さんの治療以外の内容について、相談できる職員がいれば、相談したいことがありましたか？

あった	なかった
-----	------

【問10】 今回の入院中、担当医師・看護師以外に、ご家族のご相談に応じた当院の職員はいましたか？

いた	いなかった
----	-------

* 「いた」と答えた方は、10-1～10-3の質問にお答えください。

10-1：対応した職員の職種をお答えください。（複数対応した場合には、全て選んでください。）

ソーシャルワーカー (相談員)	臨床心理士	病棟 看護師長	病棟事務員	リハビリ 担当スタッフ	その他
--------------------	-------	------------	-------	----------------	-----

* 「その他」の職種がわかれば、具体的にご記入ください。➤

10-2：担当医師・看護師以外の職員は親身になってお話を伺っていましたか。

全て聞いて もらえた	だいたい聞いて もらえた	どちらでもない	あまり聞いても らえなかった	全く聞いてもら えなかった
---------------	-----------------	---------	-------------------	------------------

10-3：ご家族の相談について、担当医師・看護師以外の職員の対応は満足いくものでしたか。

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
----	------	---------	------	----

【問11】 今回の脳神経外科病棟での入院生活全般について、ご家族としての感想をお聞かせください。

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
----	------	---------	------	----

【問12】 今後、ご家族や友人に当院（飯塚病院）を勧めようとお考えですか？

是非、勧めたい	どちらかといえば 勧めたい	どちらでもない	あまり勧めない	絶対に勧めない
---------	------------------	---------	---------	---------

■ご意見・ご要望等がありましたら、ご記入ください。

改善の結果報告をご希望の方は、ご連絡のため お名前、ご連絡先をご記入ください。

御面倒をお掛けして申し訳ありませんが、アンケートは、添付の封筒に入れてご投函ください。
ご協力誠にありがとうございました。

ご相談の窓口

病棟	
病棟看護師長	
担当ソーシャルワーカー	

①電話の場合

病棟：0948-22-3800（代表）

※担当病棟をお呼び出してください

ソーシャルワーカー：0948-29-8069（直通）

※平日8:30～17:00まで

※担当ソーシャルワーカーをお呼び出してください

②ご来院の場合

病棟のスタッフステーションで
お尋ねください

当院のサポート体制について



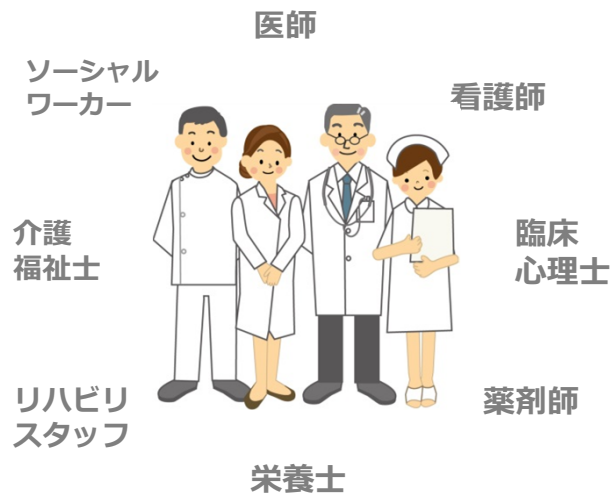
別紙3

ご家族の皆さまへ

急な入院・治療に伴い、ご家族のご心労はいかばかりかとお察しいたします。

当院では、ご家族に対しても、気持ちの辛さやご心配について、医師・看護師・ソーシャルワーカー等の多職種がチームとなり、サポートを行っています。

チームで患者・家族のサポートを行います



ご家族だけで悩んでいませんか？

相談できることの例

医療者とのコミュニケーションに関すること

- ・ 医師の説明をもう一度聞きたい
- ・ 医師に何を聞けばいいのか分からない
- ・ 医師に疑問や希望をうまく伝えられない
- ・ セカンドオピニオンについて知りたい

ケアに関すること

- ・ 入院中の療養環境やケアについて相談したい
- ・ 家族もケアに参加したい

心のこと

- ・ 不安な気持ちや思いを聞いてほしい

療養生活に関すること

- ・ 今後の療養の場所やサポートについて
- ・ 経済的な心配
- ・ その他、社会的な困りごと